



たけぶん

令和4年12月発行
第117号

「震災への思いをつなぎ、強く自分の生き方を

切り開く県民としての成長を願って」

会津支援学校竹田校

教頭 江見 浩二



三寒四温は、日本では晩冬に使われる季語ですが、もともとは、中国北部と朝鮮半島で起こる冬季の気候変化を表した言葉です。病気を有する子どもたちが学ぶ竹田校は、竹田総合病院の皆様の御配慮で、十一月早々には暖房が入り、暖かい環境で学習ができます。晩秋や春先でも施設課の方から「寒い時にはいつでも声をかけてね。」と温かい言葉をいただきます。子どもたちが取り組んできたSDGsのエコキャップ回収活動でも、病院の皆様に御理解いただき、手作りのポスターの館内掲示や回収等に多大な御協力をいただきました。県内一の小さな特別支援学校ですが、竹田総合病院をはじめとする地域の方々、保護者の皆様方の温かい見守りと御支援を受け、寒さに負けず、今日も元気な子どもたちの声が校内に響いています。教職員一同より皆様に、心から感謝を申し上げます。

今年度の中学部修学旅行は、相双、いわき地区の震災遺構や震災関連施設を巡る見学・研修旅行でした。生徒たちは、昨年度から東京旅行への

期待を膨らませていましたが、新型コロナウイルスの影響はありつつも、生徒たちの「震災についても知りたい」という沸き立つ思いの中で旅行先が決まりました。小学部で学び考え、御家庭で伝え教えてもらってきた震災に対する思いが結実した有意義な学習となりました。生徒の思いを受け止め、御協力いただきました保護者の皆様には、感謝の言葉しかありません。

今年四月に第7次福島県総合教育計画が策定され、「福島ならではの教育」の実現、そして「多様性を力に変える教育」、「福島を生きる教育」の推進が課題とされました。生徒たちは、自分たちの意思で震災について学び、自分たちの話し合いの中でSDGsの目標に向かって取り組みを継続しています。それらは、福島の復興にも世界の安寧にも小さな取組でしかありません。しかし、確実に「福島の”今”を生きる」姿の第一歩であり、自らの困難を逞しく克服する力の源になることと期待します。今後とも、様々な困難を乗り越え、笑顔を絶やさず学び続ける竹田校の児童生徒に、温かい眼差しと変わらぬ御支援をお願いいたします。

SDGsの取り組み



中2生徒が作成したポスター



エコキャップ回収



ポスター掲示

修学旅行 の一場面



請戸小学校見学



埋め立て処分場見学

活動紹介

中学部修学旅行

(九月二十一日・二十二日)

今年度の修学旅行は、浜通り方面へ行きました。総合的な学習の時間に取り組んでいる東日本大震災の学習も兼ねた旅程でした。

生徒達は、移動中ジャンボタクシーの乗り心地や窓から見える風景を楽しみだけでなく、広野町や双葉町の街並みを見て、会津とは違った雰囲気を感じ取っていました。



東日本大震災・原子力災害伝承館や震災遺構である浪江町立請戸小学校などを見学し実際に地元の方に話を聞くことで、調べ学習だけでは分からなかった当時の様子を詳しく知ることができました。津波や地震の恐ろしさについても実感できたようです。水族館やホテル、商業施設では、目を輝かせながら館内の見学や買い物、食事をする姿が随所に見られました。

大いに学び、大いに楽しんだ二日間でした。修学旅行をとおして、生徒達はまたひとつ成長したと感じています。残り少ない中学校生活。今回の経験を活かして、一日一日を大切に過ごしていってほしいです。





竹田フェスティバル

(十月二十九日)



今年度も感染症対策のため、保護者と家族のみの参観、午前中の開催でしたが、『つなげよう竹田の輪くみんなに笑顔届けたい』というテーマのもと、生徒は日々準備や練習を行ってきました。

学習発表では、各学年、総合の時間を中心に学習してきたことを発表しました。発表の随所で生徒達が各発表のテーマに関する自分自身の考えを述べており、生徒達の思いが伝わる非常に素晴らしい発表でした。

体験活動では、家族対抗による「第二回みんなでボッチャ大会！」を行いました。どの試合も接戦で、非常に白熱した戦いとなりました。



開閉会式は、ピタゴラススイッチをイメージしたテーマ発表やダンス等、生徒達のアイデアが盛りだくさんの式となりました。実行委員長の雄我君の挨拶も非常に立派でした。テーマの通り、最初から最後まで、みんなに「笑顔」を届けることのできた素敵な竹田フェスティバルでした。



活 動 の 様 子

歯科衛生講話



ALT 訪問



校外学習 (コミュタン福島)



エコキャップ回収

薬物乱用防止講話



職場体験(若松警察署)



避難訓練



栄養講話



看護学生の実習



水泳教室



SDGsの学習



岩手県立盛岡青松支援学校との合同授業

芸術鑑賞教室

(コメディパフォーマー羽舞さんによるショー)

編集後記

今年度も感染症対策に努め、できる限りの工夫をしながら教育活動に取り組んで参りました。生徒たちが自分の力を信じて学習活動に精一杯取り組んだり、生活を楽しくしたりできるのは、日頃より、竹田校を見守り、御協力と御支援をいただいております。今後とも、本校の教育活動に御理解と御協力をお願い申し上げます。

日々の活動の様子を、随時ホームページに掲載しております。
(今年からツイッターも始めました☆)
下記QRコードより閲覧できますので、ぜひご覧ください！



本校ホームページのお知らせ



どうぞお気軽に、お電話ください。
【電 話】0242-28-0640
【相談窓口】教頭、コーディネーター
【受付時間】月～金 九時～十六時
※「教育相談をお願いしたい」とお伝えください。相談内容や希望日時を伺います。

地域支援センター「あいづっこ」では随時、教育相談を受け付けております。「入院によって学習の遅れが気になる」、「病弱の子どもの支援や配慮はどうすればよいのか」など、疑問や悩みに関する相談をお受けします。

